

寄せられた意見については、明らかな誤字・脱字を除き、原則的に原文のまま掲載した。

## <住 民>

107 人からご意見が寄せられた。

- 光熱費の異常高騰でとても不安を感じ、先行きが心配です。既存の住宅、小屋、蔵の屋根の上に太陽光発電を低価格で設置できる様に村の補助などがあれば良いと思います。大型再生可能エネルギーよりも各家庭の小規模でも数量が増えれば対策につながると思いますので、是非前向きな検討をお願いいたします。
- まず、個人々が意識を持って日常生活に生かせるよう努力したいと思います。私自身生きているうちは、まだ大丈夫という感じですが、子供、孫が将来安心安全に生活できる事切に望みます。
- 今年、86 才の夏熱中症になり救急車で病院へ、その後 10 日間食欲なし、2 ヶ月の間体重 3 キロ減ってしまった。病院通っても体重もどらず、老人故エアコンも儉約したが、もっと気をつければよかった。広報で年寄りの熱中症にならない様お知らせに入れてほしい。
- 「地球温暖化が進むと地球上にどのような事が起こるのか」ということが実感できなかつたり他人事と思っていたりする人が多いのではないかと思います。自分の事として、自分の子、孫にどのような世界、社会を残していくかということをもまず考えられるための教育の機会を設けると共に、少しでも実践できることをしていくことが大切だと考えます。24 時間営業だったコンビニが閉店時間を設けているのは人手不足というだけでなく、地球温暖化対策にも貢献していると思います。便利すぎる世の中についてもう一度考えてみたいと思います。高齢者だけの世帯（年金生活者）にとって、あと十年生活するかどうかの住宅に、地球温暖化対策に寄与するだけの資金を投入するのは現実的に考えるととても難しいです。ちょっとのがまんと工夫しか考えられない現状です。
- 南箕輪村でも太陽光発電設備を整えておりますがどの位消費して使われているのかを知る方法がありますか？土地が余り高齢化が進み農業がだんだん出来なくなって来ますがそれで充分生活出来て行くのか心配です。
- 緑豊かな南箕輪村。これ以上の住宅増加は環境面でも心配。村全体をグローバルにとらえ、計画的に現状維持、開発（？）をしていってほしい。
- 建設会社からお聞きしました。「長野県、特に中南部は本来なら北海道函館仕様で住宅は作るべきだが、費用他の都合で本州仕様で建てているから暖房費のかかる家造りになっている。」家を建てる時（23 年前）そんな話はお聞きしませんでした。窓、戸はその後 2 重にしましたが寒いです。これからは暑さにも耐えていくとなると大変になります。
- 今の生活をしていて地球温暖化対策より経済政策を考えてほしい。電気代など生活に必要な値段が上がっていて嫌でも節電、節水せざるを得ない。オール電化、エコキュートも高くついていると感じる。太陽光パネルや EV 車の電池も処分方法がとても大変だと聞いた事があるので、安易に増やしてよいものかと思う。
- 地球温暖化の話はテレビとか新聞で見ているが、自分自身の家では自分で理解している程度でよくわからないです。
- 農地にりんごの木を植栽し地球温暖化に貢献している。
- 県や村で補助金を出していただければ太陽光・LED・電気自動車に変えたいと思いますので、よろしく願います。とくに高齢者、ひとり暮らしの方への補助金を手厚くお願い致します。
- 住民のいない飛地の活用（太陽光発電、風力発電等）
- 電気自動車の推進を数年後には全員が乗り換えると言っていたのにどうなってしまったのか？電気スタンドも無く不安になる。農家の方々の残菜（？）処理の火焼は承認されているみたいですが、普通のゴミも燃やしているし温暖化対策ではない。
- ツーツははっきりと解りかねますので書く事が出来ません。

- 個人の協力、意識を持って生活することの重要性があると考えますが我が家でも庭木を植えて二酸化炭素の吸収を心がけていても、村内では木が大きくなりすぎてかえって近隣の迷惑になっている実情があり問題となっています。どのようにバランスをとるべきか村での対策を願います。
- 字はもっと大きく。質問はわかりやすい言葉で。
- パソコンで1頁の検索方法を実行したが、ページにたどりつけなかった。もともと公式HPわかりにくく使いにくいので何とかならないか。
- 今の南箕輪村の自然を大切にしてほしいです。家を建てすぎて、田畑を減らすのはだめだと思う。住宅地に公園や林を残すべきだと思います。その為には農地の耕作ができなくなった場合は、村の管理にするとか、住宅地を建てる時はそこに公園（自然林の中で歩けたりする感じの）など作ってほしいですね。もっと色々してほしいですが、今の暮らしに慣れた私達がどこまでやれるか。学校でいかに地球が危機なのかを伝えてほしいし、行政としても取り組んでほしいです。みんなが少しがまんするといいかも。少しは危機を延ばせろうし、若い方に真剣になってほしいと思います。
- 地球温暖化対策について、村として真剣に考えていこうという姿勢を高く評価します。一方、家庭や自治体で対応できることは地球環境の温暖化を止めるごく一部にしすぎず、まず国が今の後ろ向きの姿勢を改め、本気でCO2削減を打ち出していく事が急務だと考えます。
- 地域内（村内でできるかは？）で循環するエネルギー供給体制の構築ができればいいと思います。
- 私の過ごした昭和の時代に比べるとついて行けない変化した時代に頼もしくも大変な時代になったと思うのはやはり歳のせいでしょうね。これから子供、孫、ひ孫が安心して心穏やかな毎日を過ごして行けるようそろそろこの世の中のスピードにも少しブレーキをかけてもいいのではと考えている八十媪です。
- 大芝の整備。緑の森づくり。西天龍による水田等田畑の維持。ゴミの分別→ごみを捨てない（道路等）
- 村の温暖化対策の実施については広報して欲しい。誰でもできる温暖化対策があれば学習したい。（自分の年齢では新規購入や改装はむずかしい。）
- 身近に実施できるゴミの削減への啓蒙活動はどうでしょうか。再生衣料、廃油など可燃ゴミで出していたものを回収へまわしてゴミを減らすとか。お菓子の包みなど多少の汚れはふき取るなどしてプラの回収へ出すとか。可燃ゴミは焼却→温暖化（二酸化炭素排出による）となるので回収量の実態や月別の推移、年度毎の増減（減はないかも）など数値が示せるのなら示すとかして減らそうとする意識を高められるようにするとか。
- 農地の利用による再生可能エネルギー設備は可能のように感じる（農業による農地利用の実情が理解できていない者です）。村だけの問題ではないので、県規模、国規模、地球規模での立場で進めることが必要。温暖化による不安を強く感じる。
- 南箕輪村に限らず、太陽光発電のパネルを設置してしまった土地は他の有効利用ができない。太陽光発電のパネル自体は半永久的に使えるが導線などの備品は定期的な交換が必要なので、「ソーラーバッテリーはメンテナンスフリーです」という宣伝をやめてもらいたい。
- 最近の気候を見ていると、温暖化を強く感じます。なんとかしなくてはいけないと考えるのですが、具体的に何をしたらいいのか悩んでいます。車をあまり使わない。ゴミの分別を徹底する。つけっぱなしの電気をこまめに消す、など。出来る事を少しずつでもしていきたいと思っています。未来の子供達が良い環境で暮らせるといいと思います。
- 土の表面が少ない（アスファルトが多い）。
- 公共施設は全てソーラーパネルをのせる。
- 現状では業者が一方的に住宅地や農地を太陽光発電設置に電話などで勧誘して来ている。早期に自治体で許可制度の義務付けをしないと農地が設備の設置になり後手になってしまう。業者は地方でなく東京など都市部から農地の地番と地図を送って来て、強制的に勧誘し売却を指示している。業者は設置することだけに専念し、自然や環境の概念は全くない。地元の利益にはならない。設備の最終処理は責任なく、費用がかかり、撤去のないまま放置される事を注意することが必要であると思う。
- 他人に貸している田畑を村が買い取ってくれて太陽光発電に使って欲しい。70代夫婦としてはあと20年もたないから基とれないし。指定ゴミ袋の券いつも結構余って返しているが、余った券を買い取って欲しい。それだけゴミを出していない証拠、そうすれば皆もプラ他資源ゴミをスーパーに持っていったりすると思う。
- 太陽光発電を積極的に取り組む様に村でも補助金を多く出す様にしてもらいたいものです。

- アンケートの項目で分からない言葉が多かったです。これからはもう少し温暖化対策についても意識していきたい。知識を得たり情報を求める機会も希望します。
- 温暖化そのものを否定する見方が世界には数多くあり、そもそもの基本となるべき科学的な知見が不明確。環境問題全体として捉えた方が取り組み易いかもしれない。
- 国、県、地区で出来る項目を分類及び情報共有化。
- 家で剪定した枝や草を燃えるゴミで処理しないで村が集積所を設けて、チップに加工したり堆肥化して再利用する仕組みを作るべきである。
- 太陽光発電は発電パネルの製造、設置、管理、廃棄（電池）総合的に計算してどの程度の効果があるのでしょうか。大泉所ダムの整備、発電所化の効果シミュレーションはマイナスなのでしょうか。少なくとも老朽施設の安全化は図れると思うのですが。“南箕輪村の地球温暖化対策”がよくわかりません。村の web サイトを探しましたが、見つかりませんでした。今後策定ということでしょうか。大きく温暖化対策を考えた時、エネルギーの問題と関連させて考えないと、先が見えて来ません。原子力（核分裂、核融合）も回避することなく、全国的、全地球的立場で考えていく必要があると思います。（半減期の長い核ゴミは宇宙空間へという手段も将来は可能か？核融合は村としても協力できる部分はあるのではないのでしょうか。）……とりあえずは現状森林整備というところでしょうか。（木材として保存すればCO2 固定）
- 現在の村役場や公民館等の位置が極端に片寄り過ぎていて、公平な村政等ができていない！！一部の地域の人だけが有利な状況にある！！車を利用しなければ用事が成り立たず、店も少な過ぎて買い物もすべて他市町で済ませるような現況では、温暖化対策等と言う前に先ずやるべき事をしっかりやっただと思う！！
- CO2 を減らそうと設備などを買い替えることはお金にゆとりがある人はできるが、それができない場合、『小さなことからコツコツとで良いから皆でやろうではないか！』というような実際できそうな具体的な例を挙げて欲しいし、楽しくできるような雰囲気づくりや盛り上げるイベントなどを企画したらどうでしょう。住民環境課だけでなく、観光森林課や地域づくり推進課など、イベント上手な課や大芝の関係を混ぜ込みながら。堅苦しかったり厳しかったりする活動は長続きしないと思います。提案：七輪を使ってクッキング（イベントとしてどうでしょう）→とても効率が良く、炭を使うのでCO2 は出るけど木として吸収していたのでOK。七輪の材料は珪藻土。あと、楽しい、防犯グッズとしても役に立ちます。七輪で焼いた焼き鳥は絶品です！！
- 子育て用品等リユースできるように、定期的にイベントの主催をするか、保育園、学校、こども館など子育て中の人が行き来する場所で（いつでも）提供できるスペースを設置してほしいです。保育園や学校等の食品ロスを防ぐために、フードパントリーやこども食堂の取り組みを増やしてほしいです。
- 収入の低い世帯を中心に太陽光発電やEV 車への大型補助をすべき。
- 温暖化対策は個人、事業所など取り組める単位は沢山ありますが、生活と事業の基本活動に影響を及ぼしてまで取り組めない点に難しさがあると思います。村として啓発も重要ですが、実際に取り組むまでに至る個人や事業所は限られると思います。個人や事業所などの取り組みが顕著な所には、有益な何かを施すことで、そこがけん引をしていくことも考えられるかと思っています。それに平行して、製品、施設、生活用品など多岐にわたる物が省エネ、エコなどの要素を含んだものとなると無意識のうちに改善につながるものとも思われます。
- 昨年度室内外灯全てでLED 化しエコキュートに交換しました。一家庭で2ヶ所の変更だけでも光熱費が50%以下位に（平均）。1軒々がほんの少しの事でも変えれば大きい力のなるかも。1万4,5千の村でも出来る事からやりたいものです。
- 景観条例等で場所、色等の条件を満たす様な「設備」を導入して下さい。
- まず出来る公共施設や道路廻りの緑化対策（美環境、観光考慮）（例）～ゾーン、並木道、川のほとりの緑化……やすらぐ空間作りとその延長先（外部への観光資源作り）……第三の緑で第三の観光地にそして地球温暖化を
- 今は経済的負担が大きすぎるため太陽光発電などができずにいます。
- 補助金の増額をしてほしい。
- 「省エネ」という言葉は皆よくわかっていると思います。ただ、具体的にどうしていかについては、なかなか難しいと感じます。電気自動車や太陽光パネルなど導入できれば良いに決まっていますが、とにかく高額であり、すぐには変えられないのが現実です。まず、身近な所からコツコツと個人的にはやっけて行くしかないと感じます。南箕輪村としても、地道にもっと知ってもらう為にアナウンス活動が必要かなと思います。（もうやっているかも知れ

ませんが)

- 温暖化が進み、害虫が発生することが多くなりそうな気がするので心配です。
- 他の自治体に比べ温暖化対策への積極的な取り組みがあまり見られない。もっと本腰を入れるべき。
- このアンケートとは関係ないですが、3年前まで豆炭コタツの灰を役場で取ってもらえたのですが、今は取ってもらえないので私は妹が駒ヶ根にいてそこへ持って行って出して頂いています。3年前のように灰も役場で集めて頂きたいのですがよろしくお願い致します。
- 村政だからこそできる施策をお願いします。太陽光発電について、山林を切って設置するという事案が他の市町村で見受けられます。温暖化対策という意味では本末転倒なので、こういうものに関して規制をして欲しいと思います。南箕輪だけに限った事ではありませんが、域内の高低差を利用した再生可能エネルギーを創出できたらいいと思います。太陽光を利用したもので天候に左右されてしまうので安定的にエネルギーを得られるものが村内にあれば災害時にも役立つのではないかと思います。そういうもの、しくみがあるのであれば、普及させるために補助することもあるかと思えます。すでに村には山林が多くあり、CO2 固定するためには都会に比べてできているかと思えます。より多く CO2 固定するためには植林や森林の整備、それらを担う人材の育成など村としてできることがあるのではないかと思います。村として既にやっていることもあるかと思えます。私が知らないだけかもしれませんが、いろいろ書きましたが一助となれば幸いです。
- 太陽光発電の場所が増えていくとギスギスした村になって観光などの人が減ると思う。生ごみをからからにするものに助成金が出ていると聞きましたが、助成金の流れを役場でパネルとかで分かりやすくしたらいいと思う。対面販売みたいに興味がある人を募って目の前で生ゴミをからからにしてみると親しみやすい。小・中・高で地球温暖化を学んでもらう機会を設けて、今の世代が成長した時に行き詰まる事がないように大人が動いていった方がいい。あさがおの種を配りあさがおカーテンを上手に作って写真を撮って賞をあげたり、作り方を発信したりしてはどうか？人って何かもらえるとがんばると思う。
- 私は今 72 才、アパートでの 1 人暮らし。そのような人が多くなっていると思います。このアンケートは私共にはあまり。昔の生活のように暮らしていけばそれが地球温暖化対策になると思います。便利すぎる生活にみななれていると思います。少し意見を書くアンケートはむずかしい。
- 対策はしたいと思うが、年齢を考え費用面でその余裕がないのが実情。
- 電気自動車の為の充電スタンドを村が村営か補助をして設ける。自動車の電化が進まない理由に充電する所と時間があると思う。行政が営むスタンドができれば話題性と自動車の電化の促進につながると思う。日本の電化が進まない原因になっている。
- 自転車、徒歩で！と言っていますが、踏み切り（神子柴、田畑）の近くの道が狭く、歩きにくいです。自動車を通るとすぐよけなくてはならず、年寄り、子ども、ベビーカーは大変です！避難にも道が大切だと思うので点検し、優先して直していただけたらと思います。何事も人々の命を守るのが大切だ！と思います。まず、道の点検をお願いします。（葉書、手紙を出しに行くにも車で行くので田畑駅にポストがほしいです。）
- 太陽光発電は景観を損なうためこれ以上の増設は村民として望まない。かわりに山林地区への風力発電の設置を検討すべきと考えます。
- 不燃ゴミや燃えるゴミのプラスチック製品などまだ使用はできるが使ってないのでゴミとして出すものが自宅を整理すると増えています。自分で SNS やネットを使って売りに出したり、リサイクル品としてお店へ持っていったりもしますが、面倒なこともあります。村でそういったものを引き取って、安価で中古品でも良いと言ってくれたり、生活に困ったりしている人に無償で渡したりできることができると、ゴミも減るしありがたいかなと思っています。マッサージチェア（小さくて 1 人で持ち上げる事ができる）を処分するのに困っているので、使いたい人がいればあげてもいいと思っていますが、ネットでは電子機器？は売れないと言われたので、5 年以上荷物置きになっています。人口も増えてきていますが人と人との交流もあまりないのでフリマとかしてもいいのかなと…。地震の自然災害に備えて電気を使用しなくてもできる料理や生活の知恵など体験できるイベントや実際に車中泊を一日できるなど、いざという時に役立つ事ができるイベントがあると、実際に必要な時に実践できると思うのでやってみたいなあと思いました。
- 地球温暖化で雨が降らず砂漠化して行くアフリカの国々の様子テレビで見ました。日本がそうなる前にさよならをしたいと切に思う 90 才のババです。
- 村の温暖化対策の内容を知らないなので、意見を述べる立場にはないが、今のような豊かで快

適な生活をしていてはエネルギー消費は増え続けるだろうと思う。生活スタイルを見直す必要があると思うが、なかなか難しい。新しい家がどんどん建てられ、農地が失われていく。人口が増えればCO2の排出も多くなるし、方策は個々が地道に取り組むしかないのかなと思う。

- 南箕輪村の事ではないですが……商品のステルス値上げが気になっています。その結果、必要以上にゴミが出たり、製品を作る段階での燃料の消費が増えているのではと思います。経済の仕組みを根本的に変えないといけないと感じています。
- 「高齢者の戯言」地球温暖化って概念的には知っている様で、何が影響して地球が温暖化し、このまま放置した場合、地球環境にどう言う影響が出て来るかをよくは知らず、よそ事に思っておりました。国は地球温暖化対策として政策を公示し、村は令和2年度に「気候非常事態宣言」を出し、2050年に二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すこととしました。これらの政策や宣言は、聞いたりした事は有りますが、よそ事のようにしか思っていませんでした。村の宣言の基、住民は何をしたら良いかも解りませんでした。むしろガソリン価格の高騰や、冷暖房費の上昇にどう対応するかを考えていました。地球温暖化が村民に与える影響と、村民の出来る対策を具体的に示して頂く事で、村民に出来る対策が解り、協力出来るものと考えます。今まですでに通知や、配布がなされているのかも知れませんが。本当に、2050年に二酸化炭素排出量実質ゼロにさえすれば地球温暖化は収まるのでしょうか。また、2050年迄に二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする事が出来るのでしょうか。次世代に向けて危機感をもって、緊急性をもって進めて行かなければならない事だと思います。先日の村の文化祭の講演会で、気象予報士の森田正光さんは「以前に比べ雨量強度が二割くらいは増しており、今後さらに二割程度増す事が考えられる」と言っておりましたが、此の事一つ取っても大変な事です。地球温暖化対策は、大変重要な事だと思いますので、二酸化炭素の削減や二酸化炭素の固定・吸収について、村民に何が出来、何に協力・支援すれば良いかを教えてほしいと思います。添付図面1部あり
- 難しい事ではありますが、地球温暖化の根本的な原因を常に考え続ける事を頭の片隅に置いておくことは、人類の未来にとってとても大切に思います。残された時間は多くはないのではないのでしょうか。
- 自然豊かな村と提唱しながら大芝高原の松の伐採や住宅ばかりになっていくのはもう少し検討していった方が良いように感じる。
- 歩行者、自転車などが優遇されるような道路を整備してほしい。
- 一家族やひとりでも出来る取り組みの進め方の参考例やアドバイスなど広めてもらいたい！個人では生ごみはコンポストを作り花や木の肥料作りをしている。自宅はコンクリートやアスファルトを減らし花木を育てている。車での買い物利用は計画的にする。南殿区で希望者にお花の販売する取り組みがあり、とても良い事だと思いました。安値で緑を増す事が出来れば素晴らしい事だと思います。
- 温暖化対策について村の現在の状況やいつまでに何をどの位にするのかの目標値の設定と半期ごとに結果の開示をすればもっと意識の高揚がはかれると考えます。(ごみは年間1人0gという目標があったと思いますが)
- 牛糞、鶏糞の散布により窓を開けられずエアコン等の利用が増えている。臭いを無くす努力をしてほしい。一般家庭でのゴミの焼却による有害物質の放出を無くしてほしい。
- 太陽光パネルの補助金など村民の負担がないようにしてほしい。
- やはりこれから災害にあった時(豪雨、豪雪、地震等)すみやかに村民を守れるか。地球温暖化は年々加速化している為、太陽光パネル、二酸化炭素を出さない、資源を無駄に使わない(石油等、プラ、紙)。便利さゆえの贅沢思考。細かく言えばボールペンでも中の芯だけ替えばいいのに捨てて新しく買う。コンビニ、全ての店が24時間ではなく朝6時～夜12時までとかの取り組みが必要。
- 具体的にどのような取り組みをしたら、どのような結果をもたらすのかなどわからないので、こういうことをしたらどうなるのか、なぜそれが必要なのか、わかりやすく教えてほしい。難しい説明ではなく、子供から大人まで理解しやすく伝えてほしい。
- 公共交通機関を利用したくても本数が少なかったり、マクンバス運行系統の拡大
- 太陽熱を活用して、電力の節減を検討してほしい。
- 大型再生可能エネルギー設備はコストの割に発電量が少なく、騒音や周囲環境への2次的な影響が大きすぎるため、村で実施するような政策ではありません。私の地元がすでに経験済みです。現在はメンテナンスが楽で維持しやすく、一般の人が扱える小型発電機の技術開発が進んでおり、戸建て家屋が多いので導入したい人はいるのではないのでしょうか。長野県内

にも多くの技術力のある企業があります。自分の電力は自分でまかなう、だからこそ省エネの努力が続けられる、そういう社会にしていけないといけないと思います。地球温暖化対策と言いますが、地球規模で考えられるほど人々の想像力は大きくありません。足元の生活の基盤が自分達でまかなえるライフスタイルを確立していくこと、それが”南箕輪スタイル”だと思います。(合併にたよらず独自に人口を増やして自立を目指す自治体にピッタリだと思います。)太陽光発電により農地が減少し景観が損なわれ、廃棄物の処理もできずにうちすてられていく設備の多いことが気になっています。風力もかなりの騒音です。再生可能というキーワードにおどらされず、自分たちの生活環境を守らないと地域の魅力が損なわれもどらなくなります!!お金もかかりすぎます!!

- 家庭での燃やせるごみの扱いは村報などで知らされていますが、企業や会社でブロック等で囲って燃えるゴミを処分している所があります。これはやめてほしい。個人扱いと同じように扱って下さい。
- 浄水場の所に太陽光発電を設置し運用している様ですが、いつになったら下水道料金は下がりますか?説明会の時にそういう話がありました。
- 家での省エネを進めたいが金がなくできない。物がすべて高すぎる。
- 村に移住して9ヵ月になります。広い庭での野菜作りやガーデニングを楽しみ始めました。自宅にコンポストを設置し、取った草や野菜くず、1年草の枯れたものなどを処理しています。来年の春は宿根草を多く植えてサスティナブルガーデンにチャレンジしたいと思っています。また、毎年少しずつバラの苗を植えて将来的には近くの保育園の子供達にお散歩の途中に見に来てもらうのが夢です。しかし、バラの苗木は価格が高いのが難点です。そこで植樹への助成金があると嬉しいなと思います!!
- 地球温暖化、気候変動の危機は感じ心配になる。
- 今、農業もあまりやり手がなく、何もしていない農地がかなりあるのでは?太陽光発電が身近でよいと思いますが、個人レベルでパネルを設置となると費用がかかってできない等があると思います。村でそんな農地を買い上げるとか。又、パネル設置費用に補助金を出すとか。いろいろ相談できる窓口を設置しては?
- 太陽光発電などは自然が少なくなってやはり色んな遊び、散歩などが出来る様にしてほしい。自然を大切に考えてほしい!!
- 一個人として地球温暖化にとり組む事はやはり限界があると思います。ですから、村全体、村民が1つになり全体的に参加できる方法をつくりあげていただきたいです。一般人が何をどうすると効果があがるのかがよくわからないので、民・官のつながりを強化していただき、広く周知・参加できるようにしていただければと思います。
- 地球温暖化は生活して行く上ではとても困る事だが、問題が大きすぎて何をどうすればいいのかわからない。自分で生活していく上で出来ることはやりたい。
- 温暖化、これからの有事、非常事態を考えた時、村内に何箇所か地下施設を建設、その上に太陽光発電等を設置し、その電力は地下施設に利用し、余った電力は蓄電して公に使う。村民の方々、その地下施設を定期的に見学し、エネルギーの事、省エネ、地球環境温暖化などの勉強会を開いたりして、その地下施設に日常的に慣れておく。費用も相当かかるので、村の予算の中に入れてもらい、又ふるさと納税等でも利用出来る様計画を立ててほしい。温暖化対策について少し違うかもしれません。
- 段丘地形 排、用水路を利用した小型水力発電を検討する。
- 問 19 は悩むところで、使われていない農地の活用法として考えても良いが農地が次々と太陽光パネルでおおわれていくのも良い気持ちがない。農作物でのCO2固定を考えるべきかもしれないが、人手不足とトラクターなどの機械から出るCO2量を考えると効率性と実現性はどのくらいのものなのか気になる所。
- 住民の取り組みを促進可能な積極的な経済的支援の充実
- 今回のアンケートで、初めて「1~3次南箕輪村地球温暖化対策実行計画」を読み、平成20年3月から実施行動をしていることを知りました。以前より、庁舎内でお昼時間の消灯やトイレ照明の取り換え、南原保育園のペレットストーブ導入後などを目にしてきました。省エネ対策により光熱費削減を目的だと思っていましたが、行動指針に基づいた行動だと初めて知りました。役場全体が率先して、温暖化対策に取り組んでいることは、ありがたいことです。役場の取り組みをもっと村民にアピールしても良いのではないかと感じます。また、アピールと伴に一人一人が、生活に取り入れやすい〈バイビーステップ〉を広めていただければと思います。
- 太陽光パネルの設置費用など補助を手厚くして欲しい。高断熱の家にする補助も村からして

もらえるありがたい。

- 基本、温暖化は地球のサイクル上必然で、自然の営みを妨げる事自体不可能に感じる温暖化対策をするより、変わっていく環境にどう対応していくか？そちらの対策を考えた方が得策に思う。人間が居ようが居るまいが、温暖化を遅らせる事はできても、止める事は出来ないという事をふまえ、対策ではなく対応を考えるべき。
- 地球温暖化対策は大都市・工業地帯・農村といった場所によって取り組み内容は変わってくると思います。継続的な取り組みをそれぞれの地域で行うことが大切で、それには住民、特にこれからの若い世代への温暖化対策等の教育が必要だと考えます。
- 住宅の屋根はすべて太陽光発電を装備する。／EVなどの補助金を増やす。／オーガニック（自然環境に負荷をかけない）な物を推進する。
- 日本社会全体で SDGS ウォッシュが蔓延し、本質的な取り組みがなされていないと思います。自治体や家庭レベルの問題というより、国・政府レベルの問題です。村として国への圧力を強めて下さい。村の取り組みについては、基盤となる姿勢・方針がないまま、各施策がバラバラに動いている印象です。村の姿勢・方針を明確に示して下さい。全ての基本に、一人一人の知識・理解があります。特に学校における環境教育を、村として強化していく方針・施策を打ち出して下さい。
- 地球全体への影響として、効果の高い対策から積極的に推進していただきたい。
- 村の特性である自然が豊かであること、農業が盛んであること、県下でも老人若者子供が多く、発展性が期待されることなどを生かし、長いスパンでの未来設計をしていって欲しいと考えます。特に目先の新しいものに直ぐに流されないことが大切だと感じます。村の財産である里山の保存や農家を目指す若い人たちへの手厚い支援を期待しています。
- 現在、長野県内の市区町村(佐久市や軽井沢町等)でも新たに行なっている、EV自動車購入費の補助金等を村でも検討して頂きたい。また、現在は大芝公園内にあるEV車用充電設備を、さらに役場や太陽光施設のある公共施設などに設置する事により、脱炭素社会を推進すると共に、太陽光発電の売電以上に今後の村の収入となる可能性があるのでは、是非進めていただきたい。
- 公共交通機関を充実させることで、温暖化対策と、高齢化社会での免許返納問題も推進出来ると思う。／夏の暑い時期、冬の寒い時期、日中一人になる高齢者がコミュニティなどで過ごせるような環境になると、各家庭のCo2排出が少し減らせると思う。
- ゴミを減らすための方法。落ち葉や生ゴミ草を燃えるゴミとしてだしている。ゴミ回収所に生ゴミ処理機が設置されていればそれらのゴミが再利用できるのではないかと思います。
- 広い土地への太陽光発電設備は、規制を設けて導入させないようにして欲しい。
- 自治体で導入することを考えるのなら設備費用の回収見込みがあればだが、長期的に渡り経済的負担があるのであれば村として導入するべきではないと思う。個々に導入したいと考えている人に対して補助をすべきだと思います。
- 村自体が地球温暖化対策として何を実行しているのか全く知りません。実行力がどのくらいあって、PDCAをどの様な内容で回し、最終目標をどこへもっていくのか、周知することが必要だと思います。個人では物価高騰により、以前より気にして購入物を選ぶ人も増えていると思います。取っ掛りが物価であっても自ずと地球環境、有限資源への配慮がされていると思っています。個人の情報収集よりも先ず、村がここまでやっているんだという事を開示することで村民の皆さんの意識向上へ繋がると思います。
- 公共交通がしっかりしていない。通勤を含め経済活動の二酸化炭素の排出が大きい。企業に対して国県村がどのようなことが出来るか考えてほしい。
- 体調が悪い事とクマ出没も近くであり自動車を使わざるを得ないがアイドリングストップなど環境に優しい運転を心掛けようと思います。
- 公共交通機関では生活できない村。
- 村民への啓発活動として、村関連施設を再生エネルギーを主とした設備に変換導入していく。
- 温暖化を見越した農作物の選定推奨をし、農業従事者が困らないようにして欲しい。

## <事業者>

14の事業者からご意見が寄せられた。

- 広報などが会社に来ない。行政の考えが分からない。
- 2019年 11/30で廃業になりました。
- 現在、大芝高原味工房にてPizzaを電気窯にて焼いております。大芝高原は今後樹木転換を行うということで、新たに植えた木が育ち、伐採した木を薪にして、薪をエネルギーとしてPizzaを焼いたら地域資源を循環させることができるのではないかと考えております。自然豊かな土地で電気代高騰に目を向けるのではなく。
- いつもお世話になります。今後も宜しくお願いします。
- 太陽光やLED、設備機器も重要ですが、まずは建物の高断熱化をはかり、エネルギーを極力依存しない事が最重要と思います。
- 世界では戦争や紛争、又は壮大なエネルギーを無駄使いする様なレジャーが有ったりで、一個人や零細企業、小さな村のささやかな取り組みなどは、ほとんど無意味に思える。
- 今後、自身に物理的余裕が作れるようになった時に考えてみたいと思っています。お疲れさまです。
- 大芝の松枯れの件でも木が少なくなってきた大変ですね。私の中学の時は年に一度学校林の下草刈り作業がありましたが、今はあるのでしょうか(40年以上前)。大芝の森は尊いと思います。他県の方になぜこんなに木があるのと聞かれた時があります。30年、50年先のために今植林することをしているのでしょうか。地球規模で温暖化がみるみる進んでいるのを少しでもくい止められるよう一人一人の生活に指導が村からあると知識がないものは助かります。県の省エネアドバイザーで何年かやっていたことがあります。毎月ただ報告を県にするだけで、うわべだけの組織のような気がして、疑問を持ちやめました。やはり熱意がないとだめだと思います。上から言われたからとうわべだけ数字だけの報告は正直むなしなと思いましたので、そんな流れだと残念に思います。おつかれさまでございます。
- 村の将来を考えて、南箕輪村Co2削減計画を樹立してそのために個人、事業者、村の役割を定めた方針を樹立すべき。その方針にそって村の支援策を打ち出し南箕輪村の独自性を発揮した村づくりを行うことを望みます。
- 学校の給食センターを新築したが、これには太陽光発電を付けていますか。体育館とかの大きな建物をまず取り付けた方が、費用が少なくて出来ると思いますが。
- 地球温暖化対策としての大規模な太陽光発電設備が目立っていますが、その外容からして景観を害することは明らかです。南アルプス、中央アルプスに囲まれた風光明媚な土地でありそこに住む者はその美しい風景を次世代に残していかなければならない。太陽光発電は各家の屋根、企業の社屋の屋上、工場の屋上、役場や公共建物の屋上等、景観を害する事が少ない場所への設置を義務付け、自然再生可能エネルギーのバイオマス、小水力発電、森林設備、森林面積の拡大、薪ストーブ、ペレットストーブの導入促進等の可能性を探って頂きたい。
- 昨今の気候変動による様々な被害を鑑みると、全世界的な地球温暖化対策(温室効果ガス削減)への取り組みは待ったなしの状況。/ 当行も自然豊かな長野県に拠点を置く事業者として「環境経営」を念頭に自らの脱炭素化に力を入れている。また、お客さま・地域社会の気候変動対策・脱炭素化支援にも力を入れている。/ 南箕輪村内の事業者との面談の際に、地球温暖化対策への取り組み(SDGsへの取り組み)について意見交換すると、重要性は認識しているもののCO2排出量の把握、削減に向けた具体的な取り組みに至っていない先が大半である。/ 行政には、事業者・住民への周知活動、各種具体策への補助金等の創設・支援をお願いしたい。
- 太陽光発電は建物の屋根の設置は推進して、地面への設置は制限して欲しい。また、現在すでに村内にある大型の太陽光発電設備所有者に対し撤去時の費用について、有無の確認及び積立の明文化をして欲しい。
- 岐阜県石徹白の小水力発電に倣うと良い。植物が育つ土地を覆うことはすべきではない。

## <農 家>

4人からご意見が寄せられた。

- 大型再生可能エネルギー設備の導入による自給。飛地等の未利用森林資源の活用（薪、バイオマス発電等）
- 営農で出来る Co2 削減の取り組みを進め、削減出来ない事業者に売るシステムの構築と支援を望む。
- 太陽光発電所および営農型太陽光発電所は、場所によっては住環境や眺望を破壊してしまうものだと思います。したがって、導入可能場所、導入不可能な場所をゾーニングすることが必要だと考えます。農地の炭素貯留について調査・研究を進めてみてはいかがでしょうか。堆肥施用、緑肥作物の栽培、不耕起栽培などによって、農地には炭素が貯留されるということです。
- 資本主義社会において、環境改善と経済成長は相反するものであり、両立は難しいという前提を受け入れる必要があると思う。また、メガソーラー施設などを建てた地域では土壌環境の破壊が進み、本来蓄えられていた二酸化炭素が大量に大気放出、そこにあった植物達の光合成の恩恵まで手放すことになる。本当に環境改善するのであれば長期的な視点に立ちまづはしっかりと検証を行うことが重要と考える。設備に頼るのではなく、光合成能の高い植物の開発や地道な緑化活動などが長期的な視点では有効なのではないかと推測する。